

平成24年度 津山市立秀実小学校 学校評価書(別紙)

( A: 目標を上回った90%以上 B: ほぼ目標とおり C: 目標を下回った 80%未満)

評価領域	評価項目	中間評価	最終評価	分析・改善方法	学校関係者評価
学習指導等	授業をわかりやすく教えているか。	B ・わかりやすい授業を心がけてきた。しかし、個人差がなかなか縮まらない。学級の実態に合わせて支援体制を見直していく。 ・「一人学び」「仲間学び」をすることで自分の考えを持ち伝えることができているがまだ十分ではない。小グループでの活動を取り入れていきたい。 ・朝学習で基礎学力の定着が図れている。	児:96% 職:100% A	・分かりやすい授業を心がけ、基礎学力の定着が図れた。 ・分からないことを質問するなど自分から学ぶ意欲には課題がある。 ・読解力テストを月1回全校で実施できた。 ・理解が不十分な児童への指導時間をどこで取るかが課題である。	・授業の中で自分の考えをまとめる時間、質問をする時間を確保していき主体的に取り組む力をつけていく。 ・全校で取り組む学習到達度テストと補充学習の実施回数を増やしていく。 ・毎週木曜日の職朝をなくして、算数中心の補充学習に充てる。
	児童は授業で分からないことを質問できているか。		児:72% C		
	児童の努力を認めて意欲を高めているか。		児③:89% 児⑧:83% B		
	児童は友だちと仲良く協力して学習に取り組んでいるか。		児:95% A		
	基礎学力の定着に努めているか。		職:90% A		
生徒指導	児童は楽しく学校に通えているか。	B ・長期欠席の児童もなく、子どもたちは楽しく学校に通い全体的に落ち着いた学校生活が送れている。 ・縦割り班遊び、学級遊びの時間を設けるなどして仲良く色々な遊びができた。 ・児童会の児童が朝の挨拶運動に取り組んでいるが挨拶の声が小さいのが課題である。 ・「言葉遣い」「トイレのスリッパ揃え」など細かい所で約束やきまりがルールになっている面もあるので、全職員で同じように声をかけていく。	保:100% 児:87% A	・1学期より欠席ゼロの日が増え楽しく学校に通っている。 ・縦割り班活動では、6年生がリーダーとなって楽しく活動できた。 ・仲良くできていると児童は認識しているが、言葉遣いや行動など気になる面が見られたので、引き続き指導していく。 ・昨年度に比べて学校全体が落ち着いてきている。	・なかよし班活動は時間を確保して更に充実させていく。 ・児童アンケートは年2回行い、いじめの兆候がないかどうか把握し指導に生かしていく。 ・遊び方について正しいルールで遊ぶように各学級で指導の徹底を図る。 ・あいさつ運動は引き続いて取り組んでいく。 ・目上の人に対する言葉遣いを地域の方と交流する場面などをとらえて指導し、コミュニケーション能力を育てていく。
	児童は友だちと仲良く生活できているか。		児:90% A		
	児童は約束やきまりが守れているか。		児:91% A		
	いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいるか。		保:83% 職:100% B		
	落ち着いた雰囲気です学校生活が送れているか。		/		
安全管理	児童の安全や事故防止に配慮しているか。	B ・大きな怪我や事故もなく学校生活が送れた。家庭への連絡も適切に行えた。 ・避難訓練は児童が真剣に取り組めた。 ・廊下の右側を歩く指導が課題である。 ・不審者対応の避難訓練と災害時の下校のあり方が課題だったので、夏休み中に研修をもち共通理解を図った。	保:93% A	・避難訓練は計画通り実施できた。 ・児童の怪我や病気等の対応については、担任・養護教諭・管理職・家庭等への連絡が適切にできた。 ・廊下を走る児童がいるのが課題である。	・災害時の対策は過去に水害があったこともあり、地域と共に考えていくことが大切だ。 ・遊びや生活の中での危険について各学年の発達段階に応じて指導していく。
	けがや病気などについて家庭への連絡を細かく行っているか。		保:88% B		
	児童は地震や火災が起こった時、どうしたらよいか理解できているか。		児:91% A		
研修	研究組織、研究テーマ、研修計画が確立され、校内研修の推進が図られたか。	A ・昨年度に続き「教科指導の匠」の小川先生に指導をしていただき、充実した研修ができた。 ・みんなが同じ方向を向き研究テーマに沿った研究が進められた。 ・新採用研修も含め、一学期に3本の授業研究ができた。	職:100% A	・津山市校内研究推進公開事業に向けて研究テーマに沿った研修が計画的に行えた。	・「一人学び」「仲間学び」の授業スタイルが定着してきている。今後は、国語以外の教科でも学力をつけながら、生き生きと学ぶ姿を研究していきたい。
	研修の内容は、今日的な課題や教育活動に結びつく有意義なものであったか。		職:100% A		
	研修が計画的に実施され、成果の積み上げが図られたか。		職:100% A		
地域等外部の対応	学校通信や学級通信などで、学校の情報を積極的に地域へ公開しているか。	A ・学校だより・学級だより・保健だよりで学校の様子を積極的に発信できた。 ・地域の方や特別非常勤講師の方の協力で「田植え」「ジャンボピーマン作り」「梨の袋かけ」「火おこし体験」「樹木学習」等特色ある教育活動が行えた。今後は、外部講師の方との連絡調整を丁寧に行っていきたい。	保:98% 職:100% A	・地域の素晴らしい自然、文化、人材を生かして秀実ならではの学習ができた。 ・教育活動の様子を積極的に発信できた。更に充実を図りたい。	・地域学習は各学年ごとの行事とのバンスを考えて年間計画を見直していく。 ・地域の教育力(人・もの・自然)を今後もしっかり活用していく。 ・行事等のアンケートでは、「C」や「D」をつけられた場合には、具体的に記述していただいて改善に生かしていく。 ・リニューアルしたホームページを充実させていきたい。
	地域との連携が図られているか。		職:100% A		
	学校開放や参観日などを通して、開かれた学校づくりに努めているか。		保:97% A		
	保護者や地域に出すお知らせ等の文書は適切であるか。		保:90% A		
	来訪者や電話の受け答えなど、気持ちのよい対応ができているか。		保:88% B		